

大学院生支援状況(修学・生活・留学生・就職支援含む)

【修学支援】

授業の実施等に関する連絡方法として、掲示の他ポータルサイトの掲載など、掲示を見る機会の少ない社会人にも連絡が行き届くようにしています。

また、3研究科とも昼夜開講制を導入しており、社会人が夜間や土曜日などに受講しやすいように配慮しています。授業時間の確保が難しい場合は、修業年限を3年(博士後期課程においては4年または5年)とする長期履修制度への申請も可能です。

また、特別研究費が付与され、修士論文・博士論文の作成に欠かせない学会や調査にかかる旅費、試薬や消耗品等の購入に充てることができます。(助成範囲に制限あり)

【生活支援】

大学院生用の宿舎(戸数限定)があり、周辺公共住宅より安価で利用できます。

また、経済的支援として、中村学園大学大学院奨学金(本学卒業生のみ対象)、日本学生支援機構奨学金、中村学園大学同窓会奨学金(大学院に進学が決定した本学大学生のみ対象)などがあり、さらに社会人経験者には教育訓練給付制度により授業料等に対して一定の割合に相当する額が給付されます。ティーチング・アシスタント(TA)やリサーチ・アシスタント(RA)として授業補助や研究補助業務に従事することにより、教員・研究者になるための学修機会を提供するとともに、これに対する給与の支給により奨学に資することを目的とした制度もあります。

【留学生支援】

外国からの留学生が、安心して本学で学修できるよう、学生部が窓口となり、各種支援・指導を行っています。

経済的支援として、各種奨学金の紹介を行っています。

さらに、年間を通してさまざまな国際交流イベントや地域との交流行事を開催することにより、留学生同士や日本人とのコミュニケーションを深めています。

【就職支援】

ポータルサイトで求人情報や就職セミナーの案内を掲載し、随時情報発信をしています。また、本学オリジナルのガイドブックを同様に掲載するなど、就職活動のバックアップをしています。その他、専任職員や常駐しているキャリアカウンセラーによる進路相談や履歴書添削、模擬面接の指導も行っております。